

令和2年5月1日

保護者の皆様

福井市足羽中学校
校長 野路美智男

この4月1日に、校長として足羽中学校に着任しました野路と申します。

本来ならば、もっと早くにご挨拶をすべきところでしたが、新型コロナウイルス感染症予防対策のために、着任式・始業式・入学式を行うことができず、さらには5月に入っても学校再開の目処が立たない中、ご挨拶の時機を逃してしまいました。このような遅いタイミングで、足羽中学校ホームページを通してご挨拶申し上げることに對しましてご容赦願います。

3月3日以来、2か月を越える長期の臨時休業となり、学習意欲を維持したり、規則正しい生活を送ったりすることは、生徒のみなさんにとってなかなか難しいものがあると察します。新入生は、中学校生活のイメージがもてない中、何をどれくらい準備していいのかわからないでしょうし、2, 3年生も含めて、新しいクラスのメンバーや担任の先生はどうなっているのか気になるころだと思います。特に3年生は、進路や部活動の面など、いろいろと不安を抱えているのではないかと気を揉んでおります。先日、全国中学校体育大会が中止というニュースが流れましたが、上位の大会を目指してこれまでがんばってきた生徒のみなさんの気持ちを考えると、かける言葉がなかなか見つかりません（北信越大会、県大会、地区大会については未定です）。そのような中、強豪校の選手がインタビューで、「不満や愚痴を言っている時間がもったいないので、次のステップに向けて今できることをがんばります！」と話す報道があり、私は頭が下がる思いをいたしました。足羽中学校の生徒のみなさんにも、この選手のように逆境に対して前を向いて進んでほしいと切に願っています。

さて、私ごとですが、足羽中学校での勤務は二度目となります。平成14年度から8年間、担任、学年主任、数学科、女子バスケットボール部顧問として全力投球し、十年ぶりに古巣に戻る形で足羽中学校の校門をくぐったとき、懐かしさとこれからの責任の重さを背中にひしひしと感じました。

足羽中学校の校訓は「自主、至誠、実践」ですが、この中でも特に「至誠の教え」を重要視していきたいと考えています。至誠とは、礼儀正しく、真心を持って相手の立場に立って考えられることを目指す教えです。その一面を4月8日に教科書配布を行った際、垣間見ることができました。午前中、登校して来た新2, 3年生一人一人に、校長名が入った名札を手に「新しく校長になった野路です。よろしくお祈いします！」と声をかけると、多くの生徒がその場で立ち止まって「私は〇〇です。よろしくお祈いします！」と丁寧にあいさつを返してもらい、とても嬉しい気持ちになりました。このようなすばらしい生徒でいっぱいの学校に創り上げた前校長先生、教職員の先生方、保護者及び地域の皆様の願いを受け継ぐだけでなく、自分にできることを精一杯していかねばならないと改めて誓いを立てました。そして、“生徒や先生方が一つになって、より良いものを創りあげていく”という意味の「足羽魂」を合い言葉に、これから先、一歩ずつ前進していきたいと考えています。

これから先、どうかよろしくお祈い申し上げます。